

令和元年度（「平成30年台風24号 大淀川の内水被害軽減に向けた取り組み」を踏まえた）平成30年度内水氾濫を受けた今後の取組  
進捗状況表(国管理)各機関フォローアップ

主な取組項目	目標時期	小丸川		三協議会		
		高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎地方気象台	宮崎河川国道事務所
<b>1. ハード対策</b>						
<b>A : 内水被害の軽減対策</b>						
(河川水位低下を図る対策として) 河川整備計画に基づく河道掘削	継続実施	—	—	—	—	新規
		—				・防災、減災、国土強靭化緊急対策（大淀川上流、下流、小丸川）
<b>B : 監視体制の強化</b>						
監視モニターの設置及び水位計の設置	継続実施	—	—	継続	—	—
				瓜生野川において、危機管理型水位計を設置済。年度末までに簡易型監視カメラを設置予定		
内水情報の提供、監視体制の確保	継続実施	継続	継続	—	—	—
		住民や消防団からの情報	地区住民や消防団から情報提供の確保を行っている。			
<b>C : 大型ゴミ対策</b>						
大型ゴミスクリーン設置（瓜生野川、江川）	平成32年度（令和2年度）	—	—	—	—	新規
						・瓜生野川（H31.5）設置完了、江川設計中
<b>2. ソフト対策</b>						
<b>A : 施設操作の徹底</b>						
河川管理施設の操作の徹底のための取組	継続実施	継続	継続	継続	—	継続
		県主催の研修会参加	県主催の操作研修会に、毎年参加している。	県主催の河川施設操作研修会に、毎年参加している。		操作人操作説明会（出水期前5月開催）
アラームメールで通知するシステムの活用	平成31年度（令和1年度）	—	—	—	—	新規
						アラームメール通知システム作成・運用中
<b>B : 施設操作情報の提供</b>						
パトライ特設	平成32年度以降（令和2年度以降）	—	—	新規	—	新規
						瓜生野川、江川、瓜田川にて設置中
情報提供方法の改善	継続実施	継続	継続	継続	—	継続
		職員による情報提供	情報提供は、職員が行っている。	排水機場における内外水位計にて監視		本川河川水位、画像情報提供
<b>C : 地域防災力の向上</b>						
防災訓練等の充実を図るための支援を実施	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続
		学校や地区防災訓練への支援	学校や地区防災訓練において、要請がある場合は、支援を実施している。	地域と連携した防災訓練を実施	市町村から要請がある場合は、支援を実施している。	水ビジョン防災実務者会議・内水メカニズム、浸水ナビ勉強会（R1.6.30）
住民の水防災意識の向上（出前講座、防災学習、シンポジウム等）	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続
		出前講座	町・学校・地区単位で、防災講座等を開催している。	地元防災訓練に参加し防災意識の啓発を実施している	要請がある場合、防災講座等を開催している。	宮崎県警・宮崎西署・鹿島地区防災学習会議（宮崎河川）水ビジョン協議会として連携取組実験
ため池管理者への協力体制の確保	継続実施	対象外	対象外	—	—	—
<b>3. 維持管理</b>						
<b>A : 河川内巡回・点検の徹底</b>						
河道内の土砂撤去・樹木の伐採等	継続実施	継続	対象外	継続	対象外	新規
				瓜生野川の樹木伐採・河道掘削を実施		・平常時河川巡回と毎月維持管理小委員会 ・防災、減災、国土強靭化緊急対策（大淀川上流、下流、小丸川）
<b>B : 施設管理の徹底</b>						
不法係留船対策の強化	継続実施	—	—	継続	—	継続
				不法係留船対策として巡視を実施		・平常時河川巡視と毎月維持管理小委員会
<b>4. 災害後の支援体制</b>						
<b>A : 災害後の生活基盤の早期</b>						
生活再建等の支援策について対応方法の再確認	継続実施	継続	継続	—	—	—
		確証証明書の発行	門番課と協力して、ごみ・消毒・確証証明書の発行などの生活支援対策を実施する。			
<b>5. 危機管理</b>						
<b>A : 早期避難の促進・啓発</b>						
過去浸水エリア等を活用した早期避難の促進・啓発（出前講座、防災学習等）	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続
		出前講座の実施	町・学校・地区単位で、防災講座等を開催している。	地元自治会の防災訓練に参加し防災意識の啓発を実施している	要請がある場合、防災講座等を開催している。	・過去灾害、気象情報、内水メカニズムを知り危機意識啓発 ・地デジ河川防災情報等一情報入手手段 ・平常時一川標とリンクした意識啓発
<b>B : 情報発信・共有</b>						
関係機関で共有するための仕組み（タイムラインの活用、マスクミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等）の強化	継続実施	継続	継続	継続	継続	新規
		幼保小中高の防災主任への出前講座	河川国道事務所主催の水防閣連合会議に参加し、関係団体と情報共有を行った。	ホットラインの実施	水防閣連合会議等に参加し、関係団体と情報共有を行った。	・マスクミ意見交換会（宮崎河川） ・カメラ画像情報協定・覚書等（配信カメラ）における連絡承認確認
災害時の情報発信・共有方法について再確認	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続
		防災行政無線・防災メール等	町の無線告知システムを活用して、情報発信を行っている。	水防警報発令(FAX、電話)	確実に発信されているかチェック体制を強化している	川の防災情報マルチモニタ、危機管理水位計共有。

令和元年度（「平成30年台風24号 大淀川の内水被害軽減に向けた取り組み」を踏まえた）平成30年度内水氾濫を受けた今後の取組 進捗状況表  
県管理区間フォローアップ

主な取組項目	目標時期	小五川・一ツ瀬川流域管理区間									二招集会 宮崎県（再掲）
		宮崎市（再掲）	西都市	高鍋町（再掲）	新富町	木城町（再掲）	川南町	都農町	西米良村	宮崎県（再掲）	
<b>1. ハード対策</b>											
A: 内水被害の軽減対策		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(河川水位低下を図る対策として) 河川整備計画に基づく河道掘削		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B: 監視体制の強化		—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続
監視モニターの設置及び水位計の設置		—	—	—	—	—	—	—	—	—	監生野川において、危機警報型水位計を設置済。年度末までに開通監視能力を設けた設置予定。
内水情報の提供、監視体制の確保		継続	継続	継続	対象外	継続	継続	対象外	対象外	—	—
「内水警戒員の配置制度」に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。		内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。	内水警戒員の配置制度に基づき、各移行会場に内水警戒員が配置し、内水警戒の情報収集を行っている。
C: 大型ゴミ対策		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大型ゴミ用スクリーン設置(瓜生野川、江川)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>2. ソフト対策</b>											
A: 防波操作の徹底		継続	継続	継続	継続	継続	対象外	対象外	対象外	継続	—
河川管理施設の操作の徹底のための取組		田川原・原で操作会場会、操作会開催実績。	職員による操作会開催	職員による操作会開催	職員及び消防団への情報会議	職員及び消防団への情報会議	対象外	対象外	対象外	継続	—
アラームメールで通知するシステムの活用		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B: 防波操作情報の提供		—	—	—	—	—	—	—	—	新規	—
バトライト設置		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情報提供方法の改善		継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	継続	—
排水機場の操作状況の透明化を図るために、操作会を開催する。		排水機場の操作状況の透明化を図るために、操作会を開催する。	排水機場は、職員が行っている。	職員による情報提供	排水機場は、職員が行っている。						
C: 地域防災力の向上		継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	継続	継続
防災訓練等の充実を図るための支援を実施		地域住民の出向講習会などで、暴雨警報に関する知識が得られれば競争対応を図ることで、地域防災訓練や自主防災組織が行う訓練に対する理解度を高めている。	学校や地区防災訓練への支援	学校や地区防災訓練への支援	学校や地区防災訓練への支援	学校や地区防災訓練への支援	対象外	対象外	対象外	継続	市町村から連携した防災訓練は実施している。
住民の水防災意識の向上(出前講座、防災学習、シンポジウム等)		継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	継続	継続
出前講座		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ため池管理者への協力体制の確保		継続	継続	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	—	—
ため池管理者への協力体制の確保		ため池管理者へ台風時ににおける非常避難場所を確認する。	市役所での出前講座や地元の講習会等で、ため池の運営者等注意喚起を行っている。	市役所での出前講座や地元の講習会等で、ため池の運営者等注意喚起を行っている。	出前講座	出前講座	出前講座	出前講座	出前講座	—	—
D: 緊急管理		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
A: 河川内水特・点検の徹底、堤防工事箇所・樹木伐採		継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	継続	対象外
河道内の土砂撤去・樹木の伐採等		宮崎市が実施する導岸河川の土砂堆積状況を把握しながら、河道清掃等(原予定：高鍋田川・産母川)。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B: 海防管理の徹底		—	—	—	—	—	—	—	—	継続	—
不法係留船対策の強化		—	—	—	—	—	—	—	—	—	不法係留船対策をして継続を実施
<b>4. 防災地の支援体制</b>											
A: 被害者の生活基盤の早期復旧		継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	—	—
生活再建等の支援策について対応方法の再確認		災害ごみ分離・消毒・遮掩津波障壁設置等において、各計画・マニュアル等に従い適宜実施している。	名様の分離消毒の利用等、生活支援対策を実施する。	震災証明書の発行	震災証明書の発行	震災証明書の発行	震災証明書の発行	震災証明書の発行	震災証明書の発行	—	—
B: 救援管理体制		継続	継続	継続	新規	継続	継続	対象外	対象外	継続	継続
過去浸水エリア等を活用した早期避難の促進・啓発(出前講座、防災学習等)		過去に浸水した地域などで出前講座の実施があれば、早急に避難を行うといふ。	地区、公民館、学校等で防災講習を行っている。	出前講座の実施	各地区で防災講習を行っている。	町・学校・地区単位で、防災講習や避難説明等を行っている。	地区での、防災講習や避難説明等を行っている。	—	—	地元自治会の防災訓練に参加し防災講習の実施をしている。	要請がある場合、防災講習等を実施している。
C: 情報発信・共有		継続	継続	継続	対象外	継続	対象外	対象外	対象外	継続	継続
関係機関で共有するための仕組み(タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャネル等)の強化		宮崎市公团事務所担当の名様と担当者会議にて情報共有を行った。	市内の公團事務所で個別会議を行った。	幼稚園小規模の防災主任への出前講座	幼稚園小規模の防災主任への出前講座	出前講座の実施	出前講座の実施	出前講座の実施	出前講座の実施	ホットラインの実施	ホットラインの実施
災害時の情報発信・共有方法について再確認		宮崎市防災課長有り(スムーズにおいて)、内部情報の共有を実現している。	防災課長や防災課員等で情報メール等で情報共有を行っている。	情報共有を行っている。	情報共有を行っている。						